

The Rotary Club of Sapporo Odori Park

札幌大通公園ロータリークラブ
ライラック通信(2008/8/25号)

会長 大坂忠 幹事 高橋宏

第311回例会報告(2008年8月18日)

- 「四つのテスト」と広報補助金申請について協議しました。
- ・広報の趣旨は、「四つのテスト」を広く世間に広めること、ロータリーの活動を知ってもらい、会員増強の一つの手段とすることです。
- ・昨今の日本国内企業の偽装問題等で、モラルが崩壊している現状が明らかになり、当クラブで何かできることはないかと模索した結果です。「四つのテスト」の理念は、現状を解決する為の指針となるべきものと考えます。
- ・方法論として、ポスターや雑誌広告等もありますが(過去に他の国では行った実績があるらしいです。)、今回は新聞広告を利用しようと思います。
- ・一番の問題点は予算ですが、広報補助金制度があるということなので、その申請方法等を調査することにしました。

第312回例会予定(2008年8月25日)

- ・会員増強を考える(増強委員長)

第313回例会予定(2008年9月1日)

- ・クラブフォーラム

環境問題基礎知識(第6回:バイオエタノール問題)

今年の3月ころから、国内の小麦粉、食パン、うどん等の多くの食品が値上がりし、その値上がり傾向は現在も収まっていません。この小麦粉等の値上がりの原因は、オーストラリア大陸の数年に渡る大干ばつによって、小麦などの生産が大幅に減少したことも1つの要因です。しかし、もう1つの要因として考えられているのは、実は未来のエネルギーであるバイオエタノールの影響なのです。

バイオエタノールは、世界全体で、2000年には3000万キロカロリー、2006年には5100万キロカロリーと、6年間に70%も増産されています。

国別ではブラジルが長年首位でしたが、2005年にアメリカが2012年までに3倍のバイオエタノールを生産するというエネルギー政策法を制定したために、現在、アメリカが世界の38%、ブラジルが30%を生産し、両国で世界の3分の2以上を生産しています。

バイオエタノールはトウモロコシや小麦などの穀物やサトウキビやテンサイなどの甘味作

物等を原料としています。すなわち、バイオエタノールを増産ということは、食糧を犠牲にしているということなのです。現在、世界では5000万人以上が飢餓状態にあると言われています。バイオエタノールの増産を手放しに喜んで良いのか非常に疑問です。

(次回はバイオエタノールの限界について)

(事務局) 〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目1ライオンズマンション第3大通801
TEL/Fax:011-301-2552